

平成23年埼玉県鉱工業指数の概要

1 概況 ー生産、出荷指数ともに低下ー

平成23年の埼玉県鉱工業指数（平成17年平均=100）は前年に比べ、生産▲2.7%、出荷▲5.7%、在庫▲26.4%、在庫率は▲14.7%と低下した。

四半期別に一年間の動きをみると、生産は1～3月期は対前期比で低下、4～6月期は上昇、7～9月期に低下、10～12月期に上昇した。出荷は、1～3月期及び4～6月期は低下、7～9月期は横ばい、10～12月期は上昇した。

また、在庫は年間をとおして全期低下した。

業種別（生産・出荷22業種、在庫21業種）にみると、生産は、化学工業・一般機械工業など11業種で上昇、輸送機械工業・情報通信機械工業など11業種で低下、出荷は、化学工業・一般機械工業など11業種で上昇、輸送機械工業・情報通信工業など11業種で低下、在庫は、プラスチック製品工業・金属製品工業など13業種で上昇、輸送機械工業・電気機械工業など8業種が低下した。

表1-1 鉱工業総合指数の推移（17年=100 季調済、年の数字は原指数による）

種 別		22年	23年	23年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生 産	指 数	91.5	89.0	89.9	90.9	87.8	87.9
	増加率(%)	16.4	▲2.7	▲1.3	1.1	▲3.4	0.1
出 荷	指 数	87.5	82.5	84.7	81.6	81.6	82.8
	増加率(%)	16.2	▲5.7	▲0.7	▲3.7	0.0	1.5
在 庫	指 数	88.1	64.8	76.8	72.8	72.5	59.1
	増加率(%)	31.9	▲26.4	▲4.2	▲5.2	▲0.4	▲18.5
在 庫 率	指 数	135.5	115.6	158.5	117.8	93.1	88.1
	増加率(%)	▲6.9	▲14.7	▲5.4	▲25.7	▲21.0	▲5.4

図1-1 鉱工業総合指数の推移（17年=100 季調済、年の数字は原指数による）

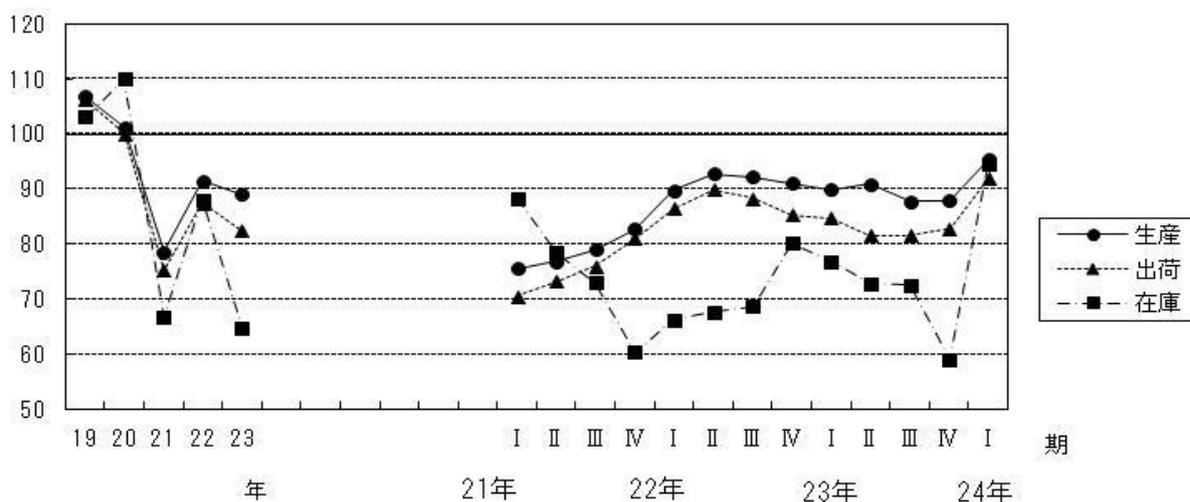


表1-2 上昇・低下に寄与した業種及び品目

*生産

上昇した主な業種	化学工業 8.2% (1.6%) 一般機械工業 7.2% (0.9%)	医薬品 空気圧機器
低下した主な業種	輸送機械工業 ▲27.6% (▲3.2%) 情報通信機械工業 ▲29.5% (▲1.2%)	乗用車 液晶テレビ
上昇した主な品目	医薬品(化)、平版印刷(印)、空気圧機器(一)	
低下した主な品目	乗用車(輸)、液晶テレビ(情)、自動車エンジン(輸)	

*出荷

上昇した主な業種	化学工業 8.2% (1.2%) 一般機械工業 9.4% (0.9%)	医薬品 空気圧機器
低下した主な業種	輸送機械工業 ▲23.4% (▲4.8%) 情報通信機械工業 ▲32.0% (▲2.1%)	乗用車 液晶テレビ
上昇した主な品目	医薬品(化)、平版印刷(印)、空気圧機器(一)	
低下した主な品目	乗用車(輸)、液晶テレビ(情)、自動車エンジン(輸)	

*在庫

上昇した主な業種	プラスチック製品工業 10.4% (0.9%) 金属製品工業 11.6% (0.7%)	プラスチック製建材 食缶
低下した主な業種	輸送機械工業 ▲89.0%(▲27.2%) 電気機械工業 ▲13.9%(▲1.8%)	乗用車 電子レンジ
上昇した主な品目	食缶(金)、トランジスタ(電子)、鉛蓄電池(電)	
低下した主な品目	乗用車(輸)、電子レンジ(電)、HIDランプ(電)	

注) 数字は対前年比。()内は寄与度。

図1-2 生産指数前年同期比の推移

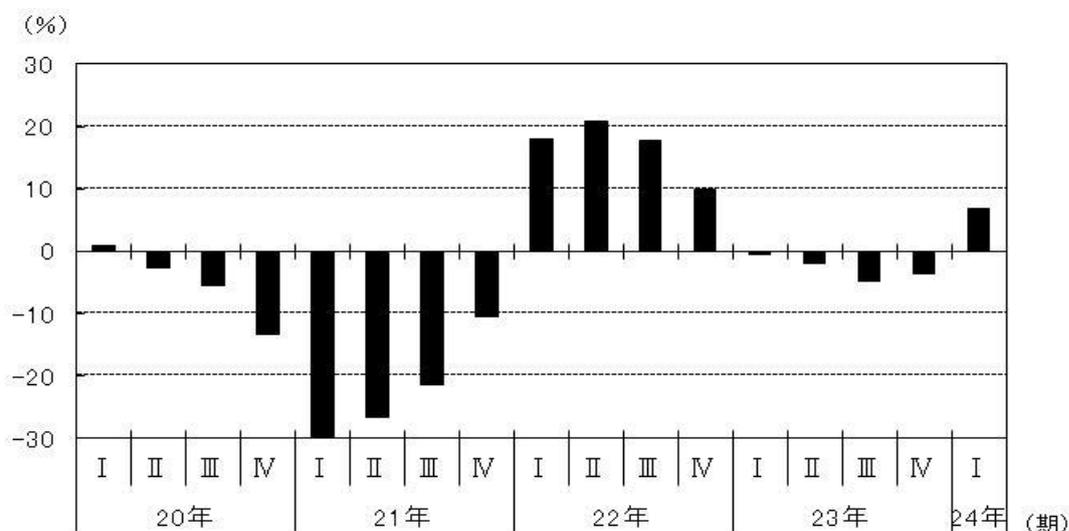


図1-3 鋳工業生産業種別伸び率寄与度の推移

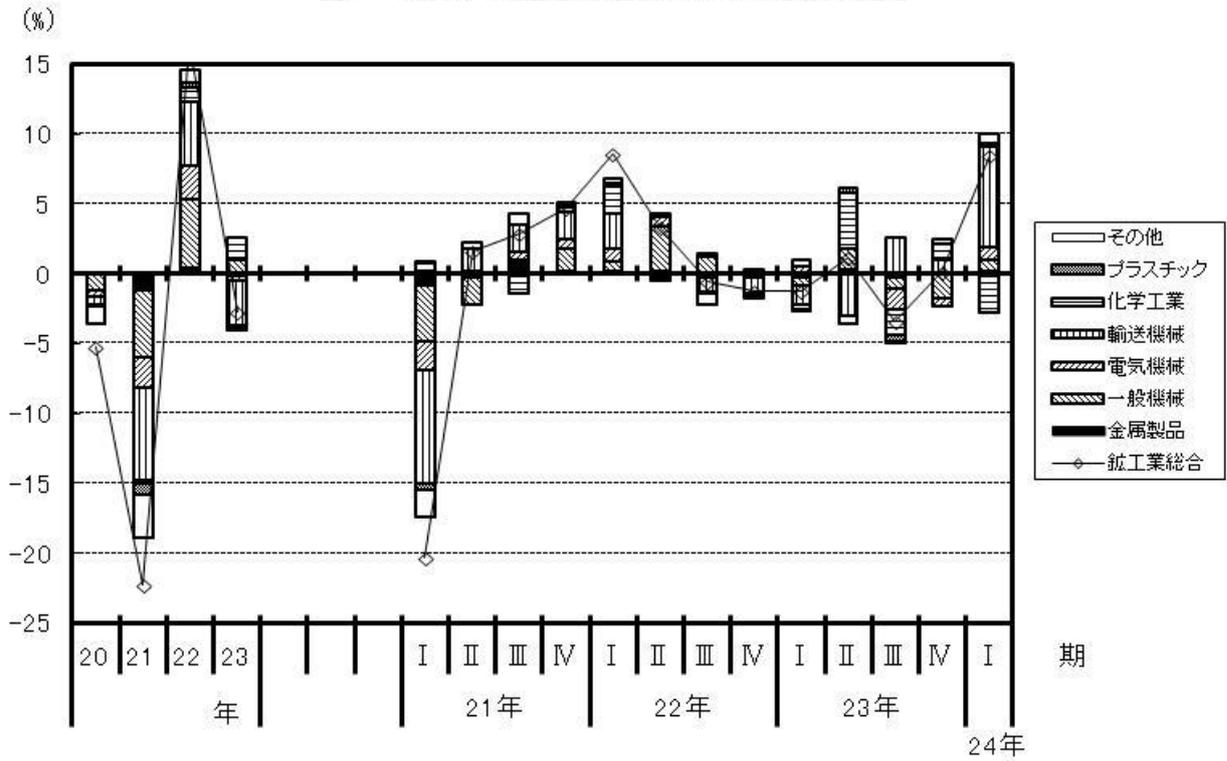
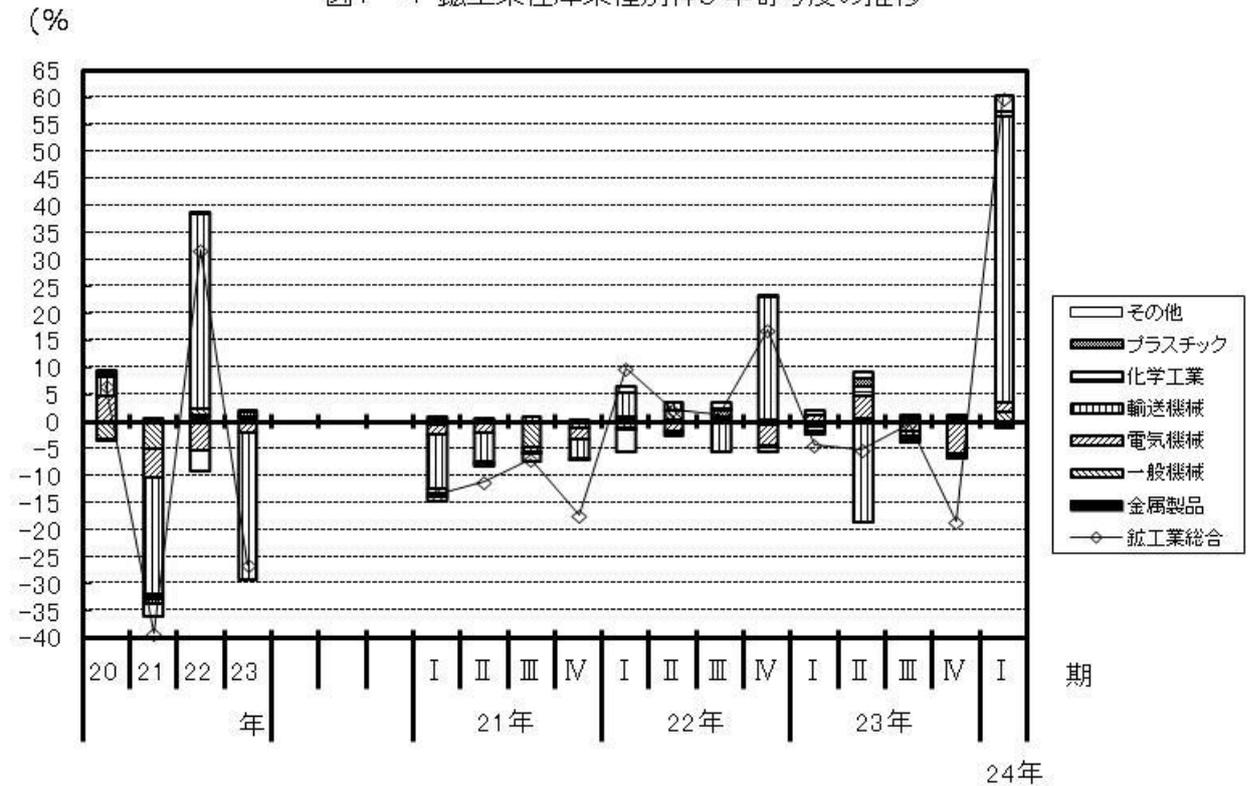


図1-4 鋳工業在庫業種別伸び率寄与度の推移



2 主要業種の動向

(1) 金属製品工業 —生産、出荷指数ともに低下—

平成23年の金属製品工業は、前年に比べ、生産は▲3.1%の低下、出荷は▲2.0%の低下、在庫は11.6%の上昇であった。

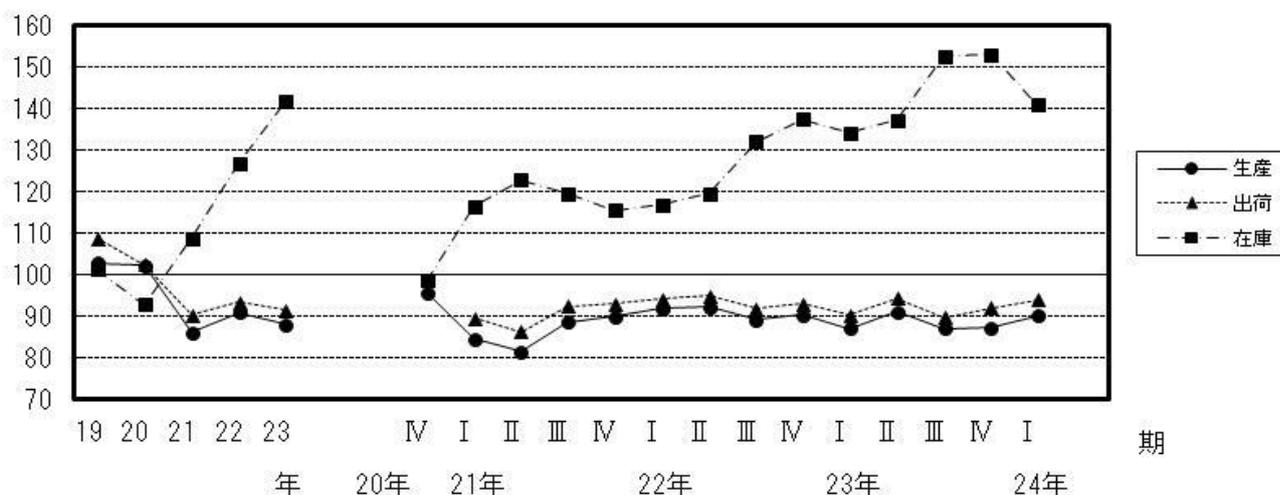
品目別に上昇品目をみると、生産及び出荷は管継手、アルミエクステリア、スチール・ステンレスドアなど、在庫は食缶、一般缶などが寄与した。

一方で低下品目については、生産及び出荷は食缶、粉末や金製機械材料など、在庫はアルミエクステリア、18リットル缶が寄与した。

表2-1 金属製品工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種 別		22年	23年	23年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生 産	指 数	91.0	88.2	87.2	91.3	87.2	87.4
	増加率(%)	5.4	▲3.1	▲3.6	4.7	▲4.5	0.2
出 荷	指 数	93.6	91.7	90.5	94.5	89.9	92.2
	増加率(%)	3.4	▲2.0	▲3.0	4.4	▲4.9	2.6
在 庫	指 数	127.1	141.9	134.3	137.4	152.8	153.2
	増加率(%)	16.7	11.6	▲2.4	2.3	11.2	0.3
在 庫 率	指 数	150.2	178.9	169.5	166.6	194.3	190.2
	増加率(%)	17.2	19.1	2.7	▲1.7	16.6	▲2.1

図2-1 金属製品工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(2) 一般機械工業 —生産、出荷指数ともに2年連続上昇—

平成23年の一般機械工業は、前年に比べ、生産は7.2%の上昇、出荷9.4%の上昇、在庫▲7.5%の低下であった。

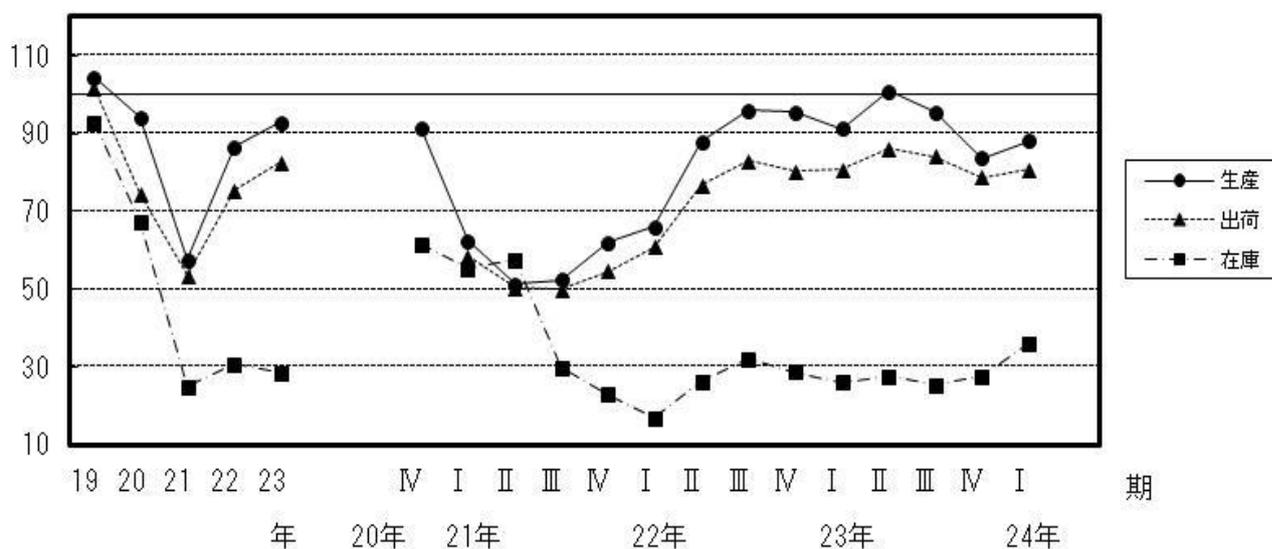
品目別に上昇品目をみると、生産及び出荷は空気圧機器、フラットパネル・ディスプレイ製造装置など、在庫は研削盤、圧縮機などが寄与した。

一方で低下品目については、生産及び出荷は歯車、飲料用自動販売機など、在庫ははん用内燃機関、マニシングセンタなどが寄与した。

表2-2 一般機械工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		22年	23年	23年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
生産	指数	86.7	92.9	91.3	100.9	95.7	83.7
	増加率(%)	50.8	7.2	▲4.5	10.5	▲5.2	▲12.5
出荷	指数	75.5	82.6	80.7	86.3	84.2	78.8
	増加率(%)	40.9	9.4	0.5	6.9	▲2.4	▲6.4
在庫	指数	30.8	28.5	26.1	27.6	25.5	27.8
	増加率(%)	23.2	▲7.5	▲9.4	5.7	▲7.6	9.0
在庫率	指数	41.8	40.9	44.1	48.9	39.3	34.3
	増加率(%)	▲55.5	▲2.2	▲7.9	10.9	▲19.6	▲12.7

図2-2 一般機械工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(3) 電気機械工業 ー生産、出荷指数ともに低下ー

平成23年の電気機械工業は、前年に比べ、生産は▲5.0%の低下、出荷は▲5.3%の低下、在庫は▲13.9%の低下であった。

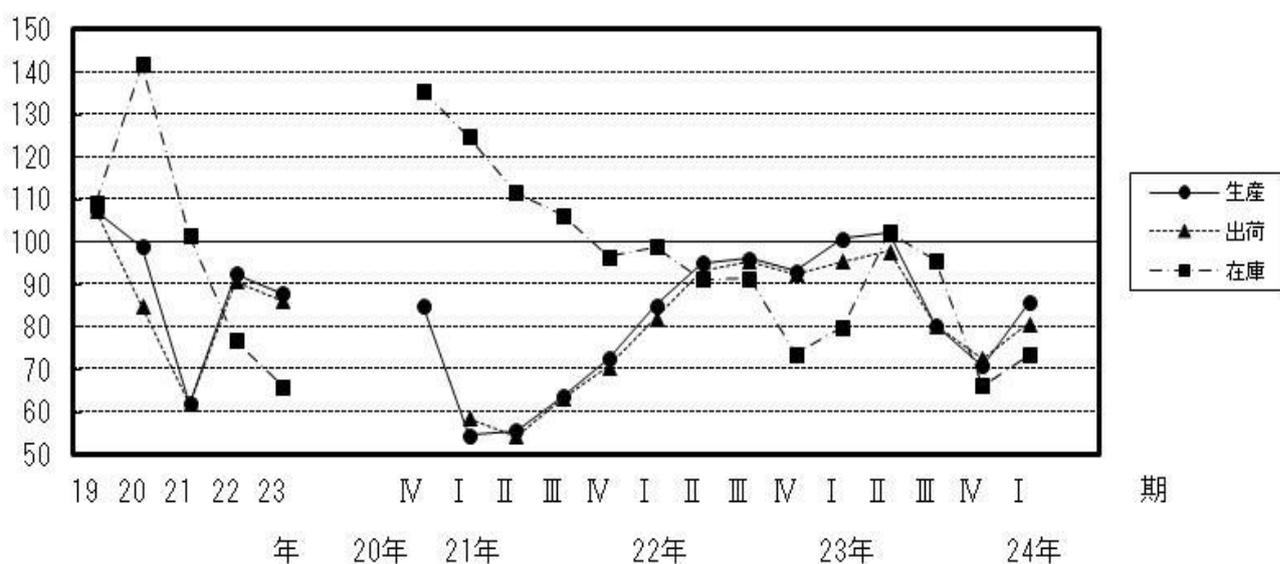
品目別に上昇品目をみると、生産及び出荷は電磁開閉器、鉛蓄電池など、在庫は鉛蓄電池、クッキングヒーターが寄与した。

一方で低下品目については、生産及び出荷はHIDランプ、開閉制御装置など、在庫は電子レンジ、HIDランプなどが寄与した。

表2-3 電気機械工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種 別		22年	23年	23年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生 産	指 数	92.5	87.9	100.9	102.3	80.4	71.0
	増加率(%)	49.2	▲5.0	8.3	1.4	▲21.4	▲11.7
出 荷	指 数	91.0	86.2	95.5	97.9	80.5	72.7
	増加率(%)	46.5	▲5.3	3.0	2.5	▲17.8	▲9.7
在 庫	指 数	76.8	66.1	80.1	102.3	95.8	66.3
	増加率(%)	▲24.4	▲13.9	8.5	27.7	▲6.4	▲30.8
在 庫 率	指 数	427.9	217.7	482.6	182.4	123.7	99.5
	増加率(%)	33.0	▲49.1	▲11.1	▲62.2	▲32.2	▲19.6

図2-3 電気機械工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(4) 輸送機械工業 ー生産、出荷指数ともに低下ー

平成23年の輸送機械工業は、前年に比べ、生産は▲27.6%の低下、出荷は▲23.4%の低下、在庫は▲89.0%の低下であった。

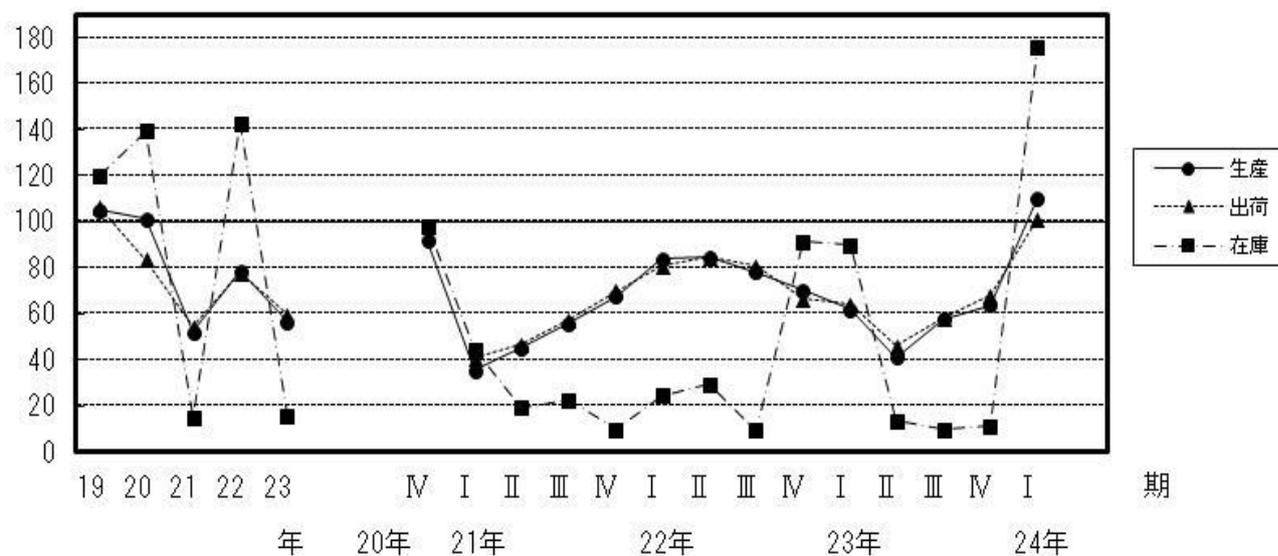
品目別に上昇品目をみると、生産及び出荷は普通トラックなど、在庫は普通トラック、輸送機械用エアコンが寄与した。

一方で低下品目については、生産・出荷は乗用車、自動車エンジンなど、在庫は乗用車、けん引車が寄与した。

表2-4 輸送機械工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		22年	23年	23年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
生産	指数	78.6	56.9	61.9	41.2	57.8	63.8
	増加率(%)	51.2	▲27.6	▲11.9	▲33.4	40.3	10.4
出荷	指数	77.8	59.6	64.3	46.3	58.3	67.8
	増加率(%)	43.0	▲23.4	▲3.0	▲28.0	25.9	16.3
在庫	指数	143.0	15.8	89.7	13.4	9.5	11.0
	増加率(%)	866.2	▲89.0	▲1.9	▲85.1	▲29.1	15.8
在庫率	指数	52.2	90.3	152.9	89.2	34.2	29.3
	増加率(%)	▲46.1	73.0	39.6	▲41.7	▲61.7	▲14.3

図2-4 輸送機械工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(5) 化学工業 —生産、出荷指数ともに2年連続上昇—

平成23年の化学工業は、前年に比べ、生産は8.2%の上昇、出荷は8.2%の上昇、在庫は2.4%の上昇であった。

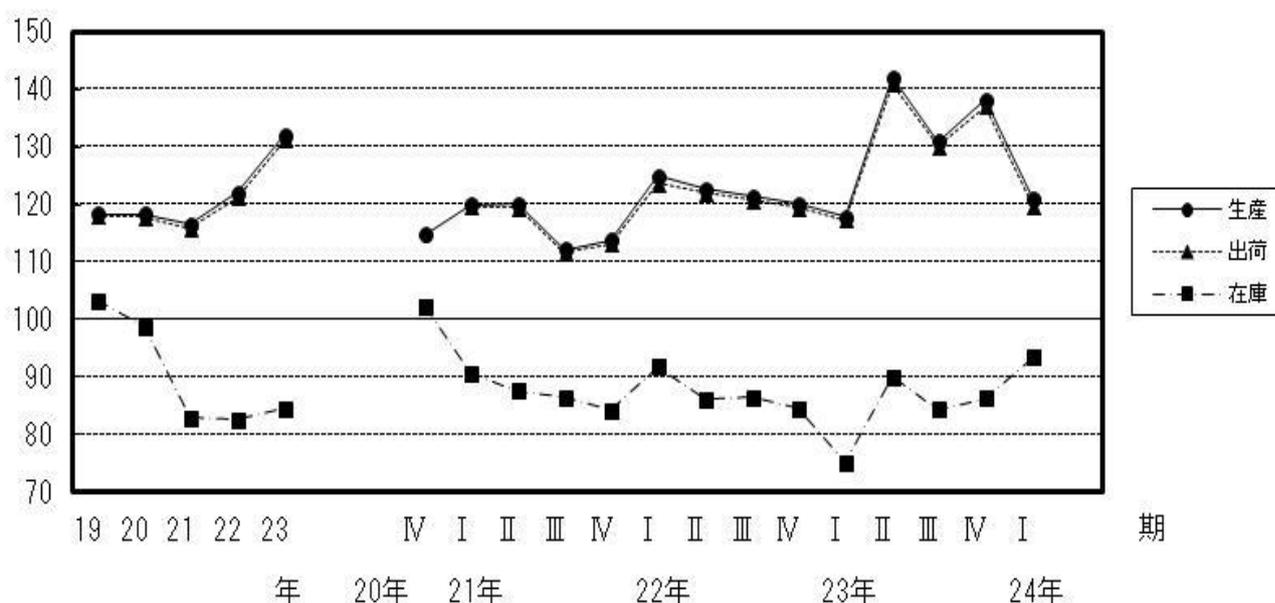
品目別に上昇品目をみると、生産及び出荷は医薬品、合成樹脂塗料など、在庫は合成樹脂塗料、印刷インキなどが寄与した。

一方で低下品目については、生産及び出荷は化粧品、印刷用インキ、在庫は印刷インキ用ワニス、シンナーなどが寄与した。

表2-5 化学工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種 別		22年	23年	23年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
生 産	指 数	122.1	132.1	117.8	142.1	130.9	138.2
	増加率(%)	4.8	8.2	▲ 1.9	20.6	▲ 7.9	5.6
出 荷	指 数	121.3	131.2	117.3	140.9	130.1	137.1
	増加率(%)	4.7	8.2	▲ 1.8	20.1	▲ 7.7	5.4
在 庫	指 数	82.6	84.6	75.2	90.0	84.4	86.4
	増加率(%)	▲0.5	2.4	▲ 11.1	19.7	▲ 6.2	2.4
在 庫 率	指 数	105.1	101.5	99.5	106.6	99.7	99.5
	増加率(%)	▲8.3	▲3.4	▲ 5.0	7.1	▲ 6.5	▲ 0.2

図2-5 化学工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(6) プラスチック製品工業 —生産、出荷指数ともに低下—

平成23年のプラスチック製品工業は、前年に比べ、生産は▲3.5%の低下、出荷は▲2.6%の低下、在庫は10.4%の上昇であった。

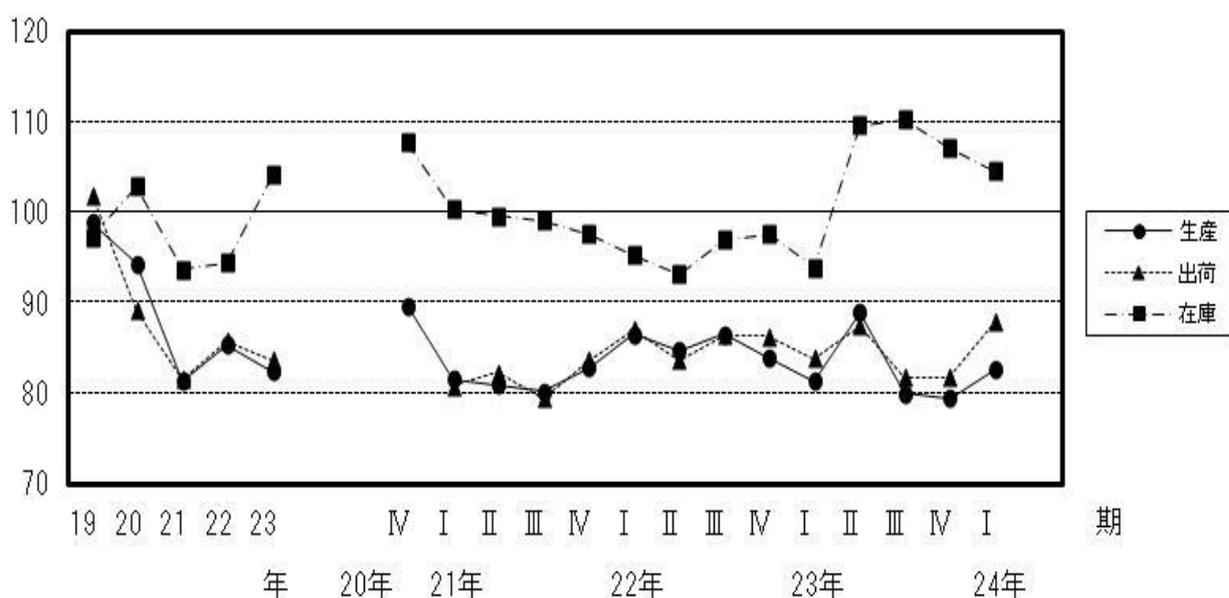
品目別に上昇品目をみると、生産及び出荷はプラスチック製建材、合成皮革など、在庫はプラスチック製建材、強化プラスチック製品などが寄与した。

一方で低下品目については、生産及び出荷はプラスチック製容器、プラスチック製フィルムなど、在庫は日用品・雑貨プラスチック製品などが寄与した。

表2-6 プラスチック製品工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種 別		22年	23年	23年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生 産	指 数	85.4	82.4	81.4	88.9	80.0	79.4
	増加率(%)	4.9	▲3.5	▲3.0	9.2	▲10.0	▲0.8
出 荷	指 数	85.8	83.6	83.8	87.4	81.7	81.8
	増加率(%)	5.4	▲2.6	▲2.9	4.3	▲6.5	0.1
在 庫	指 数	94.4	104.2	93.9	109.7	110.3	107.1
	増加率(%)	0.7	10.4	▲3.8	16.8	0.5	▲2.9
在 庫 率	指 数	119.2	126.7	118.1	120.5	136.8	132.9
	増加率(%)	▲7.7	6.3	▲7.9	2.0	13.5	▲2.9

図2-6 プラスチック製品工業の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)



3 財別動向

(1) 生産 —最終需要財・生産財ともに低下—

平成23年の生産動向を財別にみると、前年に比べ、最終需要財は▲2.2%（投資財1.8%、消費財▲4.4%）の低下、生産財も▲3.3%と低下した。

品目別に上昇品目をみると、最終需要財ではフラットパネル・ディスプレイ製造装置（投資財）や医薬品（消費財）、生産財では平版印刷などが寄与した。

一方で低下品目については、最終需要財では乗用車（投資財・消費財）、液晶テレビ（消費財）、生産財では自動車エンジンなどが寄与した。

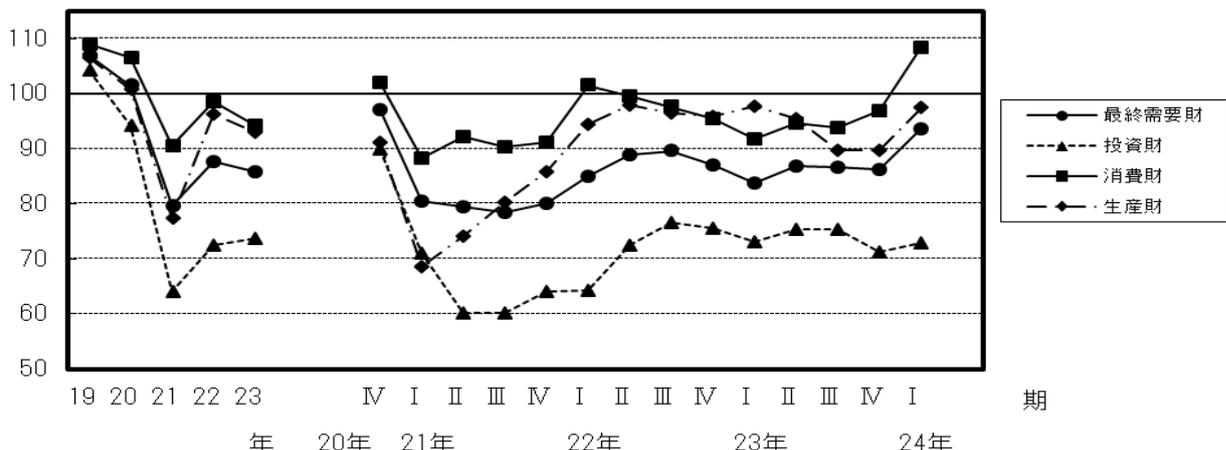
表2-1 財別生産の推移

(17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		22年	23年	23年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
最終需要財	指数	87.7	85.8	83.8	86.9	86.6	86.3
	増加率(%)	10.2	▲2.2	▲3.7	3.7	▲0.3	▲0.3
投資財	指数	72.4	73.7	73.0	75.3	75.3	71.2
	増加率(%)	13.1	1.8	▲3.3	3.2	0.0	▲5.4
資本財	指数	68.5	67.4	67.5	69.9	70.2	62.1
	増加率(%)	23.0	▲1.6	▲6.0	3.6	0.4	▲11.5
建設財	指数	80.2	86.6	84.7	87.0	86.2	88.6
	増加率(%)	▲1.0	8.0	2.9	2.7	▲0.9	2.8
消費財	指数	98.5	94.2	91.7	94.7	93.9	96.8
	増加率(%)	8.7	▲4.4	▲4.0	3.3	▲0.8	3.1
耐久消費財	指数	72.1	50.4	56.7	34.1	54.0	55.6
	増加率(%)	28.8	▲30.1	▲19.1	▲39.9	58.4	3.0
非耐久消費財	指数	114.4	120.7	111.8	128.4	119.6	123.2
	増加率(%)	2.6	5.5	▲0.9	14.8	▲6.9	3.0
生産財	指数	96.2	93.0	97.7	95.5	89.7	89.8
	増加率(%)	24.3	▲3.3	1.9	▲2.3	▲6.1	0.1
鉱工業用生産財	指数	94.6	88.9	94.1	91.9	85.5	85.2
	増加率(%)	30.7	▲6.0	▲0.2	▲2.3	▲7.0	▲0.4
その他用生産財	指数	103.7	112.0	115.9	112.6	109.0	111.2
	増加率(%)	2.4	8.0	13.6	▲2.8	▲3.2	2.0

図2-1 財別生産の推移

(17年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(2) 出荷 —最終需要財・生産財ともに低下—

平成23年の出荷動向を財別にみると、前年に比べ、最終需要財は▲6.9%（投資財▲1.2%、消費財▲9.5%）の低下、生産財も▲4.2%と低下した。

品目別に上昇品目をみると、最終需要財では端末装置（投資財）や医薬品（消費財）、生産財では平版印刷などが寄与した。

一方で低下品目については、最終需要財では乗用車（投資財・消費財）、液晶テレビ（消費財）、生産財では自動車エンジンなどが寄与した。

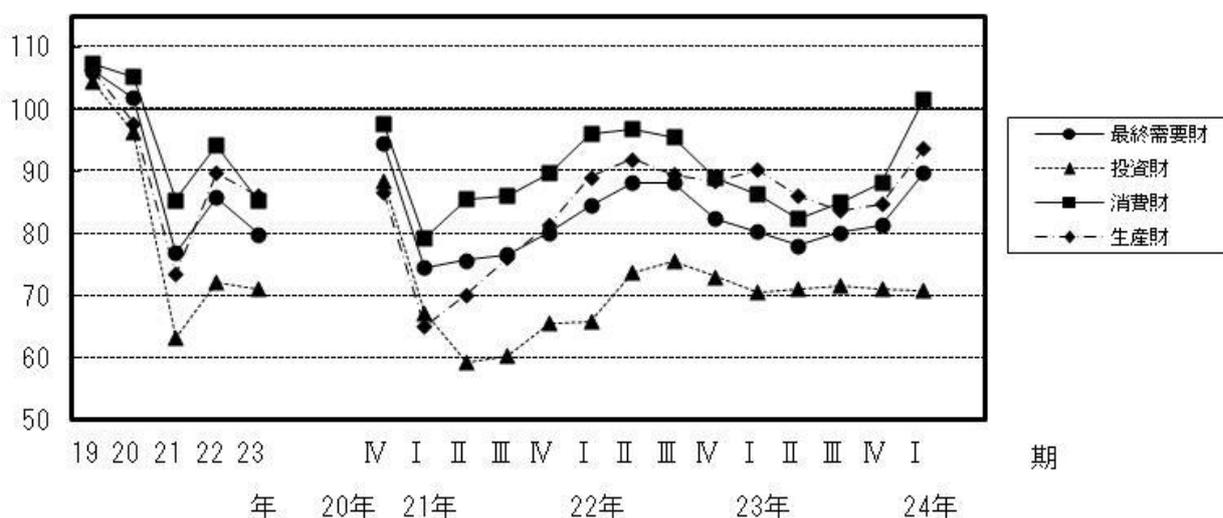
表2-2 財別出荷の推移

(17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		22年	23年	23年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
最終需要財	指数	85.8	79.9	80.3	78.1	80.2	81.3
	増加率(%)	11.6	▲6.9	▲2.5	▲2.7	2.7	1.4
投資財	指数	72.1	71.2	70.6	71.2	71.6	71.2
	増加率(%)	14.1	▲1.2	▲3.4	0.8	0.6	▲0.6
資本財	指数	68.2	64.5	65.2	64.8	65.2	62.5
	増加率(%)	22.9	▲5.4	▲5.1	▲0.6	0.6	▲4.1
建設財	指数	81.4	87.3	85.4	86.1	86.8	90.5
	増加率(%)	▲0.6	7.2	2.0	0.8	0.8	4.3
消費財	指数	94.3	85.3	86.3	82.5	85.0	88.2
	増加率(%)	10.4	▲9.5	▲3.0	▲4.4	3.0	3.8
耐久消費財	指数	78.2	56.4	64.6	41.8	58.1	60.7
	増加率(%)	24.1	▲27.9	▲8.6	▲35.3	39.0	4.5
非耐久消費財	指数	112.1	117.4	109.7	124.0	116.6	119.6
	増加率(%)	1.8	4.7	▲0.9	13.0	▲6.0	2.6
生産財	指数	89.8	86.0	90.2	86.1	83.7	84.8
	増加率(%)	22.3	▲4.2	1.9	▲4.5	▲2.8	1.3
鉱工業用生産財	指数	87.4	81.5	85.8	81.5	79.3	80.2
	増加率(%)	27.2	▲6.8	▲0.2	▲5.0	▲2.7	1.1
その他用生産財	指数	103.6	112.1	115.6	112.6	109.0	111.5
	増加率(%)	2.3	8.2	13.6	▲2.6	▲3.2	2.3

図2-2 財別出荷の推移

(17年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(3) 在庫 —最終需要財は低下し、生産財は2年連続上昇—

平成23年の在庫動向を財別にみると、前年に比べ、最終需要財は▲54.2%（投資財▲12.8%、消費財▲74.8%）の低下、生産財も1.6%と上昇した。

品目別に上昇品目をみると、最終需要財ではプラスチック製建材（投資財）や電話機（消費財）、生産財では食缶などが寄与した。

一方で低下品目については、最終需要財では乗用車（投資財・消費財）や電子レンジ（消費財）、生産財ではH I Dランプなどが寄与した。

表2-3 財別在庫の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		22年	23年	23年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
最終需要財	指数	95.7	43.8	71.2	47.1	47.4	36.9
	増加率(%)	71.8	▲54.2	▲9.9	▲33.8	0.6	▲22.2
投資財	指数	82.0	71.5	77.0	76.1	73.2	68.3
	増加率(%)	14.0	▲12.8	▲0.4	▲1.2	▲3.8	▲6.7
資本財	指数	78.9	35.6	60.6	43.4	26.7	29.7
	増加率(%)	92.0	▲54.9	▲4.7	▲28.4	▲38.5	11.2
建設財	指数	83.7	90.9	85.6	93.2	93.5	91.7
	増加率(%)	▲5.6	8.6	0.8	8.9	0.3	▲1.9
消費財	指数	104.4	26.3	68.1	27.1	29.9	19.6
	増加率(%)	130.0	▲74.8	▲13.6	▲60.2	10.3	▲34.4
耐久消費財	指数	108.8	15.7	67.7	15.1	16.3	11.1
	増加率(%)	181.1	▲85.6	▲14.0	▲77.7	7.9	▲31.9
非耐久消費財	指数	81.4	81.6	74.4	82.6	81.6	78.7
	増加率(%)	1.2	0.2	▲5.7	11.0	▲1.2	▲3.6
生産財	指数	81.5	82.8	81.3	92.6	91.0	83.4
	増加率(%)	6.8	1.6	▲0.1	13.9	▲1.7	▲8.4
鉱工業用生産財	指数	81.1	82.4	81.2	92.6	91.1	83.2
	増加率(%)	6.7	1.6	0.0	14.0	▲1.6	▲8.7
その他用生産財	指数	115.4	108.8	85.2	79.4	87.5	92.8
	増加率(%)	19.0	▲5.7	▲19.4	▲6.8	10.2	6.1

図2-3 財別在庫の推移 (17年=100 季調済、年の数値は原指数による)

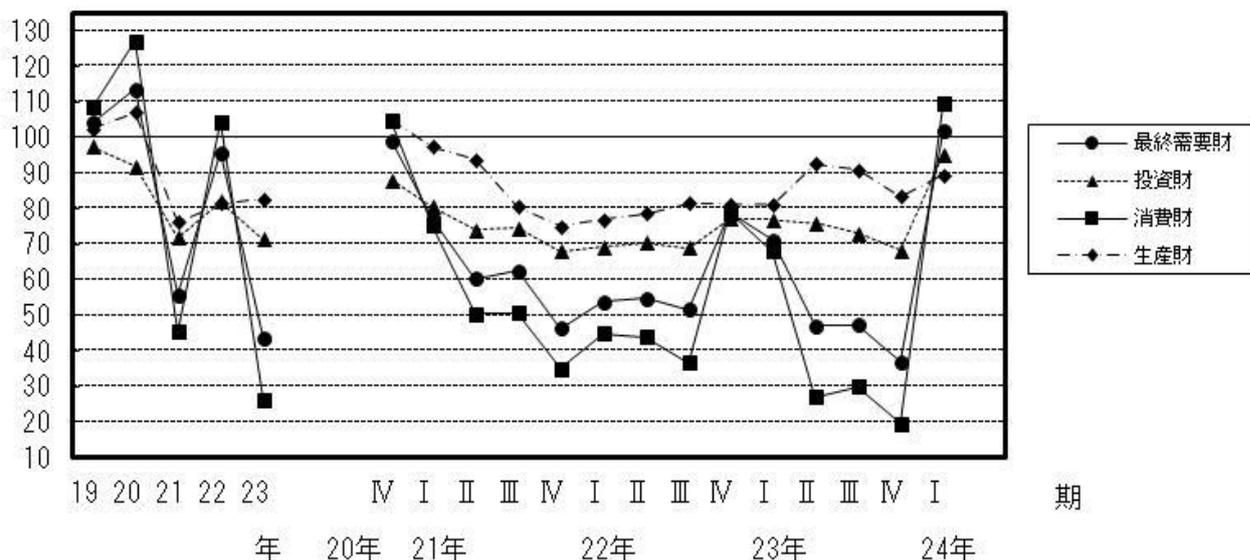


図2-4 鉱工業出荷の財別伸び率寄与度の推移

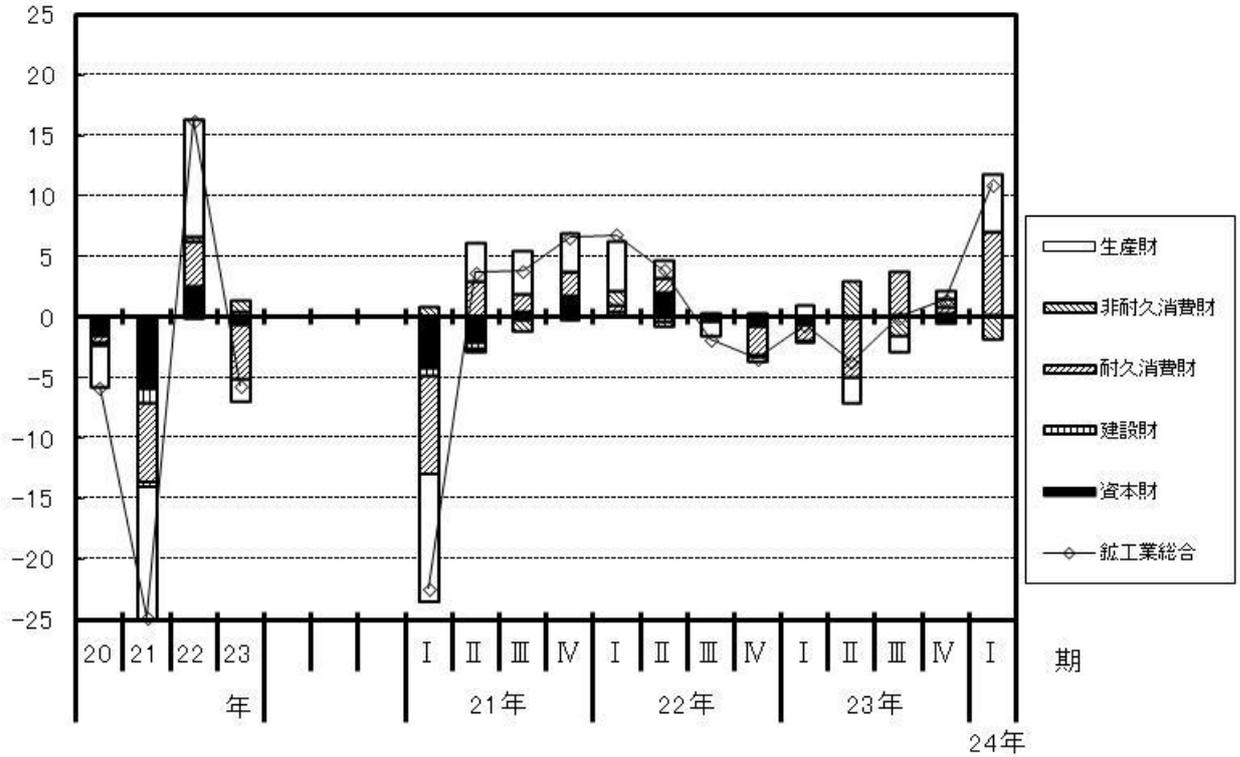


図2-5 鉱工業在庫の財別伸び率寄与度の推移

